

産地戦略

実施期間 令和5～6年度

実施主体 群馬県（中部農業事務所伊勢崎地区農業指導センター）
都道府県 群馬県
対象地域 伊勢崎市、玉村町
対象品目 半促成ナス（ハウス）



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

該当するものに●を付してください。

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

半促成作型のナス栽培は、化学合成農薬（植物生長調整剤）の処理が不可欠であるが、労力がかかることが問題となっている。令和5～6年度に実施した本事業により、単為結果性品種「PC鶴丸」について、化学合成農薬（植物生長調整剤）使用量の削減が可能であり、処理にかかる時間が10aあたり44.6時間削減できることが確認された。そこで、「PC鶴丸」の品種特性を踏まえた栽培マニュアルを作成し、品種の普及を図る。

現在の栽培体系

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
主な作業名		▲.....▲ 定植											
技術名													



グリーンな栽培体系

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
主な作業名		▲.....▲ 定植											
技術名													

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	31	▶ 31	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.1	▶ 30	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.1	▶ 30	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.1	▶ 30	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学合成農薬（植物生長調整剤）の処理	単為結果性品種「PC鶴丸」の導入	化学合成農薬（植物生長調整剤）の削減 植物生長調整剤の処理時間の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学合成農薬（植物生長調整剤）の処理回数	23	0	トマトーン処理回数 23回 → 0回
省力	植物生長調整剤の処理にかかる時間削減	44.6	0	ナス600株あたり

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

単為結果性品種「PC鶴丸」を導入することで、化学合成農薬（植物生長調整剤）の使用を削減し、作業時間の削減をはかる。

関係者の役割

関係者名	群馬県（伊勢崎地区農業指導センター）	JA佐波伊勢崎	タキイ種苗株式会社	
役割	生産技術にかかる調査・研究 技術情報による農家指導 栽培マニュアル作成	技術情報による農家指導 栽培講習会等の開催	技術情報による農家指導 栽培マニュアル作成の助言	

事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

※該当なし

生産物の販売方法、消費者理解の醸成の取組等

※該当なし

その他